

第4回常任理事会報告

仲間づくりって大変だけど、 やりがいあるよね！

= 県大会まで、 みんなで話し合い、 仲間づくりをすすめよう =

3月13日、 県平和委員会第4回常任理事会（14名参加）が開かれました。以下、 その要旨を報告します。報告事項については、 かわら版で報告してありますのでごく簡単にします。

1. 日米共同軍事訓練（1月29日から2月5日）：「米軍機くるな、 茨城実行委員会は50数名で抗議した。その後得た情報によると、 ①男女の米軍兵士が近隣の幼稚園などを訪問し園児たちを喜ばせた。 ②航空自衛隊第7航空団の1等空佐と米軍18航空団の中佐が共同記者会見し、 両軍スタッフの信頼感や訓練内容の充実さの感想を述べ合ったという。

2. 百里初午まつり：参加者では平和委員会がここ数年主力になっている。二桁参加の平和委員会が多くなってきている。今後の対策は4月6日に行われる「百里基地反対連絡協議会」で話し合うことになっています。

3. 新たな広がりを見せている核兵器廃絶署名活動

（かわら版2/15～3/15号参照）

- （1）地域共同組織で進めている、土浦・取手でのこれまでにない取り組みと成果（市長・教育長などの協力）。
- （2）小中高生徒と教職員への協力要請と成果を上げている石岡・小美玉・取手の取り組み。
- （3）月2回の定期・定点で頑張っている東海村平和委員会。会員1人・20筆を達成に全会員が取り組んでいる美和緒川平和の会。
- （4）県原水協では3月12日に44200筆を船便で国連に送ったとの事。引き続き取り組みを強め「NPT再検討会議」には手持ちで参加するとしています。

4. 憲法フェスティバルを成功させよう

（プログラムはかわら版3/5号参照）

- （1）5月3日 午前10時～午後3時 水戸千波湖畔はなみずき広場
スローガン：「憲法9条の願いは核兵器も戦争もない世界」
記念講演：「もう基地はいらない！」 仲山忠克さん
（沖縄弁護士会）

（2） 平和委員会の役割分担

- ① 「被曝者と語ろう、核兵器のない世界」ひろばの企画運営を成功させること。
- ② 当日の参加者を各平和委員会が幅広くよびかけ、150～200人とすること。
- ③ 予算規模180万円は個人・団体の賛同費で賄われます。平和委員会は個人（1口・1000円）200口・団体（1口・3000円）20口を目標に全力を尽くします。
- ④ 4月3日（土） 午前10時～12時 水戸商店街にポスターはりの取り組みがあります。 乞うご協力。

5. 10年度県大会に向けての準備

- （1） **まとめと運動方針案について：**運動における前進面・反省点。10年来の地域活動の総括。県平和委員会と各平和委員会の取り組み整合性と相乗効果。仲間づくりなど基本にかかわる問題を話し合いましたが時間的にも不十分だったので、次回理事会具体的な運動を討議できるよう準備し事前に各理事に送付することになりました。
- （2） **決算・予算については**3月末を待って、理事会に提案します。
- （3） **次期役員体制については、**従来どおり代表理事・常任理事・事務局長・会計監査を代表理事と事務局長が推薦案をまとめ、また、伊達さんの今期かぎりでの事務局長退任表明を受け新たな事務局体制づくりも理事会に図ることにしました。
理事の推薦についても従来どおり、各平和委員会から推薦していただくことにしました。

6. 持続的な仲間づくりをさらに前進させよう

- （1）一昨年11月からの毎月5名の仲間づくりは各平和委員会の奮闘によって持続されていることはこれまでにない経験作りとなっている。しかし、仲間づくりに取り組んでいる所とそうでないところがあり今後、すべての平和委員会が立ち上げられるよう組織強化委員会を中心に進めていくこととします。

- （2） 県大会まで、すべての平和委員会が2名以上の仲間を増やすことを共通の目標にしてみんなが心ひとつにしてやり遂げる事を確認しあうこととします。

7. 平和かわら版の手配り体制について

月3回発行のかわら版の各平和委員会による手配りは22の平和委員会で実施されており、会員相互のコミュニケーションにも役立っています。

まだ体制が作られていない平和委員会と協力して進めていくことを確認しました。

8. DVD「どうするアンポ」（1枚・5000円）とパンフ「堂思いますか？沖繩・フテンマ基地問題」（1部・50円）の普及について：沖繩・安保問題の運動を広げていくために各平和委員会の学習会や、つどいに大いに活用していきます。内容は裏面を参照。

歓迎!! 新入会員のみなさんです

ともに平和の声を大きく広めていきましょう。

- 岡田 正安さん（土浦市・再入会）
- 香取 昌衛さん（潮来市・再入会）
- 斉藤 禎量さん（水戸市）
- 永井 義一さん（阿見町）
- 根本 勝男さん（潮来市・再入会）
- 吉田 千恵さん（東海村）

亀・牛・かたつむりが歩むように、各平和委員会のみなさん1人1人の力で毎月5名の仲間づくりができれば最高です。

平和新聞

2010年3月25日（木曜日）
1921号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 559

2010.3/25

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

平和でこそ商売繁盛

NPT 再検討会議参加に当たって

鹿行民主商工会長 関口 正司

私は、現在鹿行民商会長をしていますが、結成から25年、民商・全商連が確立してきた「平和でこそ商売繁盛」を柱に平和運動を取り組んできました。

アピール署名では、税務署のある潮来市で住民過半数を達成し、太平洋戦争開戦日の、12月8日前には、小中学校に教材として赤紙「召集令状」のコピーを毎年、届け、平和教育の教材に活用されています。成人式には、成人を祝い、核兵器廃絶、平和運動への参加を訴え、赤紙などの資料配布をしてきました。

また原水爆禁止運動でも平和行進、賛助金募集を行い、その募金の支えで、民商からも世界大会に代表を派遣してきました。

今も6・9運動にも取り組んでいます。

最悪の犯罪、環境破壊となっている戦争、特に核兵器の恐ろしさの現実をみんなで学習し、役員会でも論議し、民商が、長年かけて教訓としてきた「平和でこそ商売繁盛」を運動の柱にしてきました。

この草の根の運動が、少しずつですが、一人一人の意識を変え、民商運動を支え、政治を変える力になっていると話合っています。

深刻な不況の今、不況だからこそ民商と、平和運動を倦まず、たゆまず、日本中で世界中でこつこつと取り組んできた結果として「オバマ発言」を引き出し、いよいよ核兵器廃絶胎動への時を迎え、その息吹を血肉とするために代表派遣を運動として取り組むことになりました。

私は、海外旅行は、ほとんどなく、日本のマスコミが報道するより、世界の核廃絶の流れは加速していると思っています。ニューヨークで見て、体感し、それをまた日本国内で広げたいと思っています。

3月期会費・紙代等の納入のお願い

いつもお世話になり、感謝申し上げます。
3月は年度末の月なので、末日までにご送金くださるようお願い申し上げます。

藤沢周平の世界に浸る

内原・友部平和の会 小林 和栄

藤沢周平原作の珠玉の時代小説が、今までに数多く映画化されています。『たそがれ清兵衛』『隠し剣鬼の爪』『武士の一分』（以上、山田洋次監督）、『蝉しぐれ』（黒土三男監督）などは、時代劇の爽快さ・潔さを思いっきり堪能させてくれる作品になっています。

また、『山桜』（篠原哲雄監督）と、『花のあと』（中西健二監督）の二つの作品は、封建時代という女性にとって自由な生き方などほど遠い時代の制約のなかで、懸命に生きる女性が主人公の物語です。

原作は、『山桜』が20ページ程度、『花のあと』が40ページほどの短編ですが、藤沢文学のもつ香り高さ・清冽さを、無駄のない端正な文章で味わえる、読後感の爽やかな作品だと思います。

『山桜』の主人公“野江”と、『花のあと』の主人公“以登”に共通しているものは、「慎ましくも、正しく生きる」という姿勢です。そのような生き方を通して成長してゆく女性だということです。

まだこれらの小説を読んだり、映画を観たりしていない方の楽しみを奪わないように、内容は詳しく紹介しませんが、日ごろの雑事や仕事に追われて疲れたときなどに是非お勧めしたい作品です。



茨城県平和委員会

第4回理事会のお知らせ

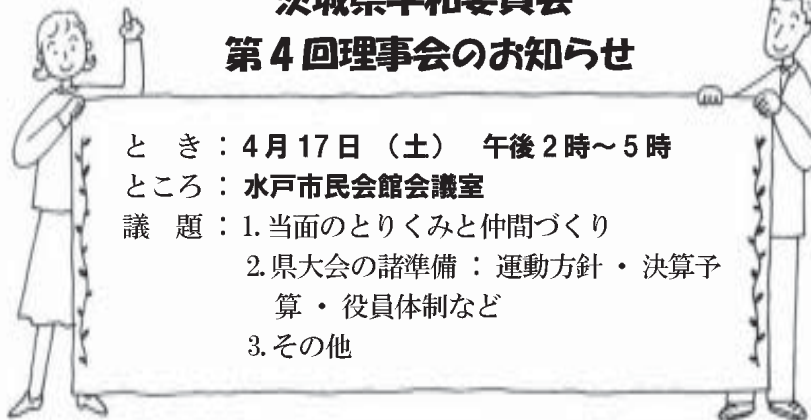
とき：4月17日（土）午後2時～5時

ところ：水戸市民会館会議室

議題：1. 当面のとりくみと仲間づくり

2. 県大会の諸準備：運動方針・決算予算・役員体制など

3. その他



DVD どうするアンポ ～日米同盟とわたしたちの未来～

企画・制作：日本平和委員会 日本電波ニュース社
2010年1月制作 販売価格5,000円（消費税・送料別）

【Part-1】 23分 アンポは日本を守ってる？【基礎編】

- 神奈川県厚木基地での爆音被害
- 高校生たちの議論
- 街頭インタビュー「米軍基地、いる？いない？」
- アニメ「アンポってなあに？」
- 前田哲男さん（軍事評論家）インタビュー
- 思いやり予算の使われ方 ● 日米安保と沖縄の歴史
- 普天間基地と海兵隊
- ジュゴンが棲む辺野古での基地建設計画
- イラク戦争と日本 ● 変貌する日米同盟
- 世界の潮流と日米安保破棄への道
- 高校生が辺野古を訪問

【Part-2】 22分 安保の間、立ち上がる人々

- Peace Music Festa! ～音楽で基地問題を広めよう～
- 山口県岩国市、市民の意識が変わった！
- 神奈川県横須賀市、原子力空母の危険性！
- 沖縄県高江、自然に囲まれた暮らしを基地が破壊する！
- 日米安保と経済、雇用、農業、医療、暮らし
- 日米密約を解明する 新原昭治さん（国際問題研究者）インタビュー
- 米兵犯罪の被害者が立ち上がった！
- 声を出すことの大切さ

特典映像

- 街頭インタビュー フルバージョン 26分
- 前田哲男さん インタビュー ロングバージョン 5分
- 辺野古のおばあ（故・小緑信子さん）インタビュー 3分
- 1968年日本平和委員会制作「平和への道」 23分

全国的に好評で、普及活用されています。
茨城でもぜひ、多くの団体・個人で学習にご活用下さい。申し込みは事務局まで。